

蓼科高校の地域連携とその進展

校長 宮澤和人

「明日の地域社会を担う人材を育成する」

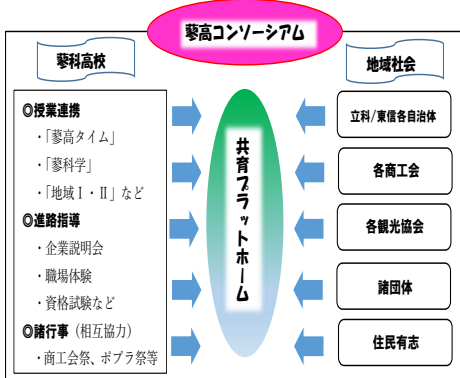
このことは百二十一年前の学校創立時より変わらな
い本校不変の社会的使命で
あります。そこで、近年本校
で進めている具体的な取り
組みを紹介しましょう。

一 蓼高コンソーシアム 構想

どのように地域の教育資
源を取り込み、本校の教育
活動に生かしているか、下
の図をご覧下さい。これは、
従来の授業だけでなく、総
合的な連携を地域諸団体と
ともに行う、コンソーシア
ム構想を概念化したもので
す。

二 進路指導と新たな地域 連携授業

地域社会の各団体や有志
の方々が、共育プラットホ
ーム（校内の各担当者の窓



口)で調整を行い、校内の
教育活動に落とし込みま
す。従来は、『蓼科学』の
ような「◎授業連携」が中
心的役割を担ってきまし
た。更に近年本校が力を入
れてきたのが「◎進路指
導」です。

生徒の進路指導と連動
することで、より本校の社
会的使命が果たせると確
信しています。大切なのは
授業に加え、具体的な地元
の方と顔を合わせる機会
を設け、地域で暮らす大人

また、町役場の企画課と
も連携の輪を広げ、地域お
こし協力隊の方々に授業や
体験学習をご指導をいただ
いております。生徒はより
リアルな地域課題と対峙
し、熱心に課題解決学習に
取り組んでいます。

三 更なる発展を願って
進路指導と同時に進めて

町内事業所就職者

年度	団体名
2019年度(1名)	ハートフルケアたてしな
2020年度(2名)	立科金属
	イッシン工業
2021年度(5名)	立科金属
	立科金属
	イッシン工業
	イッシン工業
	有限会社ヤマウラ

の熱い思いが生徒に伝わる
進路学習経験です。今年度
は『夢講座』と銘打ち他校
生徒も参加した地元企業説
明会や、地元中心の職場体
験を実現してきました。そ
の結果、右図のように、地
元企業就職者が激増しまし
た。



「協賛金」の御協力をお
願い申し上げます

同窓会の主な収入は、在校
生が入会時に納入する入会金
ですが、一般会員からお寄せ
いただく協賛金も重要な収入
源となっています。

活動が安定的に行えるよう
協賛金の御協力をお願い申し
上げます。

※納入方法

郵便振替により次の口座へ
お願いします。

口座記号・番号・名義
〇〇五三〇一六一八六二九四

長野県蓼科高等学校同窓会

※金額 二千元以上で御協力
をお願いします。

【編集後記】

新型コロナウイルスが収束し、今年こ
そは同窓会活動や同級会の開
催など、会員の交流が深まる年
となるよう願っております。

【事務局（連絡先）】

電話：0267-56-1015

FAX：0267-51-3006

E-mail:

tateshina-hs@pref.nagano.lg.jp